



☎ 健康推進課(佐屋保健センター) ☎(28)5833
 ご不明な点は、お問い合わせください。

<高齢者肺炎球菌の予防接種>

対象	接種場所	接種回数	接種料金	備考
①以下の表の生年月日の方 65歳 昭和29年4月2日～昭和30年4月1日生 70歳 昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生 75歳 昭和19年4月2日～昭和20年4月1日生 80歳 昭和14年4月2日～昭和15年4月1日生 85歳 昭和9年4月2日～昭和10年4月1日生 90歳 昭和4年4月2日～昭和5年4月1日生 95歳 大正13年4月2日～大正14年4月1日生 100歳 大正8年4月2日～大正9年4月1日生 ②100歳以上の方 ③ 満60歳以上65歳未満の方 で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方 ※過去に接種したことがある方は対象外	愛西市、津島市、 弥富市、あま市、 海部郡の指定医療機関	1回 過去に接種したことがある方は、対象となりません。	2,000円	・①の対象の方には、4月に「高齢者肺炎球菌予防接種券」と案内を送付します。 ・②の対象の方は、手続きが必要です。 お問い合わせください。 ※事前に医療機関への予約が必要です。

<高齢者肺炎球菌の予防接種について>

これまで高齢者肺炎球菌予防接種については、「平成31年度から65歳のみが対象になる」とお知らせしていましたが、厚生労働省から平成31年度以降も65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方、さらに、平成31年度中は100歳以上の方でこれまで接種したことの無い方を対象に、5年間定期予防接種を実施するとの方針が示されました。

対象者には、個別通知を予定しています。

※今までに「ニューモバックスNP(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)」を接種したことがない方を対象に、2023年度までの間に1人1回、定期接種の機会を設けています。

※愛知県広域予防接種について

子どもおよび大人の予防接種について、疾病や里帰りなどの事情で区域外の医療機関にかかっている場合、愛知県内の広域予防接種協力医療機関で接種することができます。事前に手続きが必要です。

<大人の風しんワクチン接種費用の助成について>

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(経産婦・妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方(愛知県が抗体検査の費用助成を行っています)に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。(ただし、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を受けたことがある方、風しんにかかったことがある方を除く)



歯の健康講座

「自分に合ったケア」できていますか?

「自分の歯みがきに自信がある!」という人の中でも、実際にしっかりみがけている人は約2割しかいません。歯みがきの意識と現実には大きなギャップがあり、その要因には、ブラッシング方法が間違っている、自分の口内の状態に適したケアができていない、みがき癖により効果的に歯垢を落とせないなどが挙げられます。「みがいたつもり」にならないよう丁寧にケアしてください。

また、歯ブラシは毛先が広がると歯垢除去率が低下してしまいます。1か月に1本を目安に歯ブラシ交換しましょう。

歯間や歯並びが悪いところなど歯ブラシが届きにくいところについての歯垢を落とすには、「デンタルフロス」「歯間ブラ

シ」や「ワンタフトブラシ」といった用具を習慣的に活用するのがおすすめです。

デンタルフロスや歯間ブラシは、歯間の歯垢を効率的に落とせる道具です。予防歯科先進国として知られるスウェーデンでは、2人に1人が普段から使っているそうで、ブラッシングの後に使うと、歯垢除去率は1.5倍にも高まります。一方ワンタフトブラシは、みがき残しが気になるところにピンポイントで毛先が届くのがメリットです。

この他、歯の再石灰化を促す「フッ素」を配合した歯みがき剤や、むし歯リスクが高まる就寝中の細菌増殖を抑えるデンタルリンスなどを、日々のセルフケアに活用するのも良い方法です。

適切なセルフケアは、歯並びやお口の状態によって人それぞれ異なります。歯科医院などでの指導に基づいた「自分に合った歯みがき習慣」で、大切な歯を守りましょう。

(海部歯科医師会)